

実績報告書

届出者	住所	埼玉県朝霞市西原一丁目1番1号	氏名	株式会社 武蔵野 代表取締役 安田 信行
特定事業者の主たる業種		9食料品製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		CVS向け弁当・おにぎり・寿司・調理パン・調理麺商品の製造を行っており、全国で16工場が稼働。 大阪府内では本工場1工場にて、弁当・おにぎり・寿司類を製造している。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
平成	27年	4月	1日	～	平成 30年 3月 31日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(26)年度	前年度(28)年度
温室効果ガス総排出量	5,889 t-CO ₂	5,689 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	6,249 t-CO ₂	6,051 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (29年度)	第1年度 (27年度)	第2年度 (28年度)	第3年度 (0年度)
選択	削減率(排出量ベース)	0%	0%	0%	0%
	レ 削減率(原単位ベース)	15%	10.7%	15.7%	0%
削減率(平準化補正ベース)		-	10.7%	15.5%	0%
吸収量による削減率		0%	0%	0%	0%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(純生産高(金額))
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

(4) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理

9月・10月に第一炊飯を更新するために停止していたことにより削減できていると考えております。
--

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

大阪工場では省エネに関する掲示を行い全従業員の省エネに関する知識向上をはかり、全従業員の協力もと削減する。また、弊社およびグループ全工場が本社に集まり、省エネ・温暖化防止対策に関する委員会（原則年4回）を開催。他工場事例の情報共有、好事例の横展開を継続していく。

(2) 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策の実施状況

1. 産業・業務分野

No.	温室効果ガス (GHG) の排出 及び人工排熱 の区分		事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール (年度)
1	レ	GHG排出	大阪工場	コード (1114) 生産機器等の 保守点検	生産機器の定期的な保守点検を実施している。	27 年度 ～ 29 年度
	レ	人工排熱				
		平準化				
2	レ	GHG排出	大阪工場	コード (1216) 空調機器等の 効率的な運用	空調機器の定期的な点検・整備をしている。 業者による室内機の分解洗浄を毎年実施している。	27 年度 ～ 29 年度
	レ	人工排熱				
		平準化				
3	レ	GHG排出	大阪工場	コード (1113) 運転管理	各機器の未使用時、電源を切る様に指導する。	27 年度 ～ 29 年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
4	レ	GHG排出	大阪工場	コード (1121) ボイラー設備 の保守点検	ボイラー設備の定期的な点検を実施している。蒸気漏れは、早急に対応し修理する。5台で台数制御運転を実施している。	27 年度 ～ 29 年度
	レ	人工排熱				
		平準化				
5	レ	GHG排出	大阪工場	コード (5112) 照明の間引き	工場内の照明の間引きの徹底や可能な範囲で窓際の照明の消灯を徹底する。	27 年度 ～ 29 年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
6	レ	GHG排出	大阪工場	コード (1216) 空調機、冷凍 冷蔵ユニット更新	高効率タイプに順次更新	27 年度 ～ 29 年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
7	レ	GHG排出	大阪工場	コード (1113) 運転管理	空調機の温度管理。（生産に影響のない所）夏季28度、冬季22度	27 年度 ～ 29 年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
8		GHG排出	大阪工場	コード (1218) 省エネ	高効率蛍光灯に交換	28 年度 ～ 29 年度
		人工排熱				
		平準化				

2. 自動車分野

No.	温室効果ガス (GHG) の排出 及び人工排熱 の区分		事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール (年度)
1	レ	GHG排出	大阪工場	コード (2113) 自動車の使用 管理	車両使用管理表の記載	27 年度 ～ 29 年度
	レ	人工排熱				

2	レ	GHG排出	大阪工場	コード (2114)	定期点検の実施、使用前点検の実施。	27 年度 ～ 29 年度
	レ	人工排熱				
3	レ	GHG排出	大阪工場	コード (2123)	営業車全車が安全運転及びエコドライブを実施している。	27 年度 ～ 29 年度
	レ	人工排熱				
				自動車の適正な維持管理		
				エコドライブの推進		

(3)その他の抑制対策
